

在京石鳥谷 町人会だより

連絡所：在京花巻ふるさと会事務所
〒103-0004 東京都中央区東日本橋
3-5-9 市川ビル3階
TEL:03-6661-1925 FAX:03-6661-1926
事務局：高橋弘美
〒270-0127 千葉県流山市富士見台
1-10-40
携帯 080-5529-8803

(題字 旧石鳥谷町長 高橋公男氏)



2024年『八日市つるし雑』 写真：八日市地区コミュニティ会議 熊谷 美雪

【2024年 行事予定】

11月 4日(月) 令和6年度 在京石鳥谷町人会 総会・親睦交流会
会場： 上野 精養軒



在京石鳥谷町人会HP

ごあいさつ

在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美



会員の皆様こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。
今年は元旦早々に能登半島地震が発生し大きな被害がでました。この地震で亡くなられた方々へのお悔みとご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて在京石鳥谷町人会は、設立の理念としてふるさと石鳥谷との交流促進と首都圏在住の会員相互の交流促進を掲げてこれまで活動を進めて参りました。令和5年度もこの理念に沿って活発に活動しましたが、その一部を振り返ってみたいと思います。

<ふるさと石鳥谷との交流>

令和5年度総会の郷土芸能は八重畑地区の五大堂神楽となりました。今回初めて神事として懇親会の前に演舞をお願いしましたが、開始と同時に会場全体が静寂と凜とした空気に包まれ、やがて力強い演舞の動きに次第に神代の世界に引き込まれていく、とても神秘的な交流となりました。

懇親会では、会員の菊池さんご家族のご尽力により4年振りに餅振る舞いが復活しました。もち米は新堀地区の高橋さんご提供、餅だれは八日市の菓子工房アストラさんをお願いし、岩手・石鳥谷の食材で会員がお餅をついて会場の皆さんが列に並んで食べる。まさにおいしい交流の一コマでした。当日の料理で一番うまかったとの声もチラホラと。

3月3日には「女子綱引きチームいしどりや」が全国大会に出場しました。チームいしどりやは昨年20年連続全国大会出場の表彰を受けました。今年はチーム状況が大変好調でみごと予選リーグを勝ち抜き3大会振りに決勝トーナメント進出を果たしました。在京石鳥谷町人会は毎回応援にかけつけ、懇親会も開催し選手の皆さんとは綱引きの話はほとんどせず、実家やご家族友人の話で盛り上がり、にぎやかで楽しい交流の場となっています。

<会員相互の交流>

こんなことがありました。「町人会だより」昨年秋号に元副会長S氏の叙勲の記事を掲載しましたが、それを目にした会員のFさんから小生宛に、S氏は自分が小学生のころに近所のお兄さんとしてお世話になった方かも知れない、そのことだけを確認したいという手紙が届きました。

早速S氏にお話しすると、Fさんとそのご家族も含めて記憶があるとのことで、その旨も含めて今度の総会・親睦交流会に出席すればS氏にお会いできますよ、と返信しました。Fさんは過去一度も総会に出席したことはなかったのですが、いろいろお考えの上初めて出席されS氏とのうん十年振りの再会を果たされました。それだけではなく出席者の中からお友達が見つかりその友達からまた次の友達が紹介されるなど数人のお友達ができて大変楽しかった、次回も必ず出席するとのお手紙が後日届きました。会員相互の輪がまた一つ繋がったちょっといい素敵な交流となりました。

交流の機会はいろいろありますが、一番手っ取り早いのはやはり総会・親睦交流会への出席だと思います。今年11月4日(月)(振替休日)の開催です。

今のうちにスケジュールに組み込んでもらって多くの方のご出席を頂き素晴らしい交流の機会にしたいと思っております。是非よろしくお願い致します。

2023年度 石鳥谷まつりレポート

在京石鳥谷町人会

企画 菊池 正弘

2023年度石鳥谷祭りは、コロナ禍も収まり4年ぶりにフルバージョンで開催されました。お盆に開催された花火大会と共に町民全員が待ちに待ったイベントで大盛況でした。

石鳥谷祭りに付き物の雨模様は今年も相変わらずで、突如発生した台風13号に脅かされそうでしたが、台風は8日の夜中に通過した為にほぼ影響なしでした。ほっ。

お盆が終わると始まる笛太鼓の練習音(タッ、タッ、タッ)が毎夜19時から開始され、町内はお祭りムードが高まって行きます。

風流山車は上若連、中組、下組、西組、上和町の5台あり、8日、9日はそれぞれの地区内を練歩きますが、10日午後には夕方から開始されるメインイベントに向けて5台全てが旧国道4号線の石鳥谷銀座に勢揃いします。夕方からの山車はライトアップし華やかさはヒートアップし豪華絢爛、アメージングです。それぞれが「旧いなむら商店」の前に設けられた本部前で音頭上げを行います。感動間違いなし。

会場にはテキ屋も多数並び、また各団体によるお神輿、踊りなどパレードも催されます。

会員の皆さん、今年は是非帰省しご覧あれ。



一体感のある！在京石鳥谷町人会令和5年度総会・親睦交流会

広報 上川信行



令和5年11月5日 上野精養軒で在京石鳥谷町人会 令和5年度 総会・親睦交流会が開催されました。参加者は157名(ご来賓19名、コミュニティ44名 会員94名)と沢山の皆さまの参加を頂きました。

今回は郷土芸能として五大堂神楽保存会による「早池峰大流五大堂神楽」で御神楽奏上、権現舞を総会開始前に厳かに演じて頂き参加者の無病息災を祈願して頂きました。

総会は粛々と順調に進み総会最短記録で終了しました。

親睦交流会はまず「テーブルビュフェスタイル」とし、お料理の配膳方式をビュフェスタイル&めいめいお給仕方式の良いところを合わせた新方式を当会が考案し、精養軒に提案いたしました。ホテルスタッフの動きも軽減出来て良かったと思えました。お料理もさすが精養軒です。どれも好評でした。

今年は菊池栄子ご夫妻による「お餅」も復活して頂き、ゴマ、クルミ、あんこ、ずんだ、クルミは八日市産で高橋会長が拾ったとか、実を剥いたとか、自慢しておりました。

アトラクションは「アロハ(花フラ)」「こころ妃富美」「Los Borrachos」で会場を盛り上げました。花フラの皆さん衣装を新調したのか花柄の爽やかな感じの衣装が踊りにマッチしていました。

さて、お楽しみ抽選会です。今回も協賛企業各社様から沢山の協賛品を頂いており会員の皆さんはやはり「お米5Kg」に視線が注がれております。初めての司会進行で対象が105名ということで時間的制約や会場のざわざわ感が心配で最初は緊張もありスピードアップ感がありましたが、だんだん慣れてきました。

でも半分ぐらい抽選が済むと会場の盛り上がりがすごくなり「〇〇さん、当たりましたよ！」の声も会場後方に伝わらなくなり、周りの方々が「当たっていますよ！」と教えてあげる姿が見えました。小さなお子さん達にも大人と同じ協賛品が当たります、嬉しそうに！ニコニコしながら協賛品を抱えていく姿はほほえましいです。



なんとか抽選会を終えてホッとしていると、今年は同級生が2人増えて6名となり、来年はまた2名ぐらい増えてほしいな、みんな元気で来年また会おう！などと話しながら同級生との時間が持てました。

親睦交流会の締めは柳原政義監事で懐かしい石鳥谷的締め方で来年の再会を約束し、無事に締めて頂きました。今回は、精養軒の酒井マネージャー、スタッフの方々、ご来賓の皆様、協賛企業各社様、コミュニティの皆様のおかげで、全員の力で会を盛り上げたような充実感を感じているのは私だけでしょうか？

今年は特に「楽しかった」と感じた親睦交流会でした。

皆様、ありがとうございました。



令和6年 岩手県人連合会「新春の懇親会」に参加して

企画 川村三郎



令和6年2月4日(日)恒例になっております上野の不忍の池そばに有ります東天紅上野店「鳳凰の間」にて岩手県人連合会「新春の懇親会」に参加してまいりました。

この日は曇天の今にも雪が降りそうな空模様で、しかも非常に寒い朝です。会場には早く到着した何組かのグループが談笑して熱気にあふれていました。

13:00、開会宣言と共にプログラムに沿って進行し、まずは岩手県人連合会白戸正治会長の挨拶がありました。

白戸会長は宮古市の出身だそうです、東日本大震災の際には全国の皆様に多大なるご支援を頂き大変感謝の意があると言うお話をされました、今回の能登半島地震で被災された方々への恩返しをしたいと会場に参集して頂いた会員の皆様に義援金の募集を呼び掛け、壇上にも募金箱を用意しておりました、又懇親会の最中にもスタッフの方が募金箱を持ち各テーブルを回り募金を呼び掛けておりました。

ご来賓挨拶では岩手県東京事務所の平井省三所長が立ち、明るい話としてアメリカ MLB で大活躍の大谷翔平選手の功績を自慢話の様に語られていました。

乾杯では乾杯の音頭上げとして岩手日報社東京支社菅原智広支社長が盃を持ち、乾杯前の一言として珍しく大相撲の岩手県出身力士“錦木関”を紹介していました、昨年は小結まで登り今は少し落ちましたが新春場所では勝ち越し前頭の上位に昇進するでしょうと紹介し、東京支社では相撲担当記者が場所ごとに土俵に張り付いているそうです。

アトラクションでは釜石市出身の三味線ミュージシャンの「駒 幸夫ショー」でした、バラエティーに富んだパフォーマンスで会場の参加者を壇上に上げて鳴り物を持たせ、一緒に踊りながら三味線を演奏し、盛り上げていました壇上の参加者で一番乗っていたのは岩手日報社の菅原支社長のようなのでした。

15:30岩手県人会後藤良平副会長の宣言で閉会となりましたが、岩手県人会からの発表は有りませんでしたけれど、参加者数は頂いた資料より拾ってみますと昨年より少し少ない様でした、在京石鳥谷町人会の総会・親睦交流会の参加者総数は157名でしたからこの新春の懇親会と比較しても決して引けを取るものではなかったと感じました。



2024年 全日本綱引選手権大会 応援記

広報 上川信行



2024年3月3日 神奈川県横浜市中区 横浜武道館で全日本綱引選手権大会が開催された。本来であれば駒沢体育館で開催していたのだが、老朽化改修工事の為に平成7年6月頃まで使用できない模様である。横浜武道館は関内駅の西側5分ぐらいの場所にあり、大きな建物を想像していたら意外にコンパクトな作りで、一度通り過ぎてしまった。なんとなく、大きな箱型の倉庫のような建物で、付近のマンションやビルに溶け込んでいてわかりにくい建物です。



今回岩手県から女子チーム「いしどりや」と男子「鷹高ウィナーズ」が出場しています。

鷹高ウィナーズに所属している室野氏がチーム「いしどりや」の監督を担っています。両チームとも予選リーグを突破して、決勝トーナメントに進んで欲しいと期待感でいっぱいに応援のメンバーの到着と試合開始を待つ。

応援メンバーは高橋会長が体調不調で欠席となり、在京メンバー3人、チーム関係者3人、お友達2人の8人と少し寂しい感じでしたが、試合が始まると手をにぎり締め、みんな声援を送っておりました。試合はわずか2分ぐらいで決着がつくがその時間がすごく長く感じる。勝っても負けても、どっと力が抜け、完全に試合に没入している自分を感じます。応援席は狭く、各チームの応援団と密着しており、自分達の試合が終わると席を譲り合うような状況でした。他チームの応援の方々とも交流し、一緒にそのチームを応援し応援側也十分楽しめました。



試合結果は予選リーグを2勝2敗で決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントは秋田県の三輪女子綱引きクラブ、強豪チームで何度か「いしどりや」と一緒に練習しているそうです。結果は負けてしまいましたがお互い充分戦い、力を出し切ったと思います。来年は決勝トーナメントでベスト8に入って欲しいな！試合後はチーム「いしどりや」と応援者12名でこじんまりとフランス料理店で祝勝会を開きました。2勝した事や応援の様子、出身地区の事、サプライズなパースディケーキ等、ワキワキあいあいと会話が弾み、楽しいお酒が進み、ブルーライトな横浜となりました♪

来年も横浜開催かな……。

祝勝会は「横浜港クルージング」だと思いを馳せる！！



頑張れチーム「いしどりや」！！



石鳥谷の冬景色

八幡地区



冬のたんぼアート会場



白鳥と八幡小学校

八日市地区



正月に各家を回る北寺稻荷神楽保存会の門獅



ミズキ団子作り会

好地地区



まちの駅いしどりや
酒蔵交流館で開催された「酒蔵ルミナリエ」



まちの駅いしどりや
酒蔵交流館で開催された「酒蔵ルミナリエ」

新堀地区



新堀の田んぼの白鳥



戸塚森を望む

大瀬川地区



大瀬川の白鳥家族



北帰行

八重畑地区



2024年



2023年
元旦の鳥谷崎神社



2022年

私の上京物語

在京石鳥谷町人会

好地出身

鎌田澄江

「ふるさとは、遠くにありて思うもの」そんな言葉が頭をよぎります。人生には、上り坂、下り坂、そして“まさか”の坂があると言われてはいますが、一度も東京で暮らしたことが無い私が、還暦を過ぎてから、住所欄に「東京都」と書くことになるとは思ってもみませんでした。

東日本大震災が起こった当時、三陸沿岸部の町で仕事をしていました。岩泉町、種市町(現洋野町)。久慈市内の小中学校に勤務していて、この震災でたくさんの友人、知人を失いました。隣の席で仲の良かった花巻出身の元同僚は、いまだに行方不明のままです。

この事が私の人生にも大きな影響を与えました。震災直後から復興支援の活動を始め、現地に入って被災した方々の言葉に耳を傾けるほどに、心の復興は、ほど遠い事を痛感しました。

そんな時、ポストに東京のタクシー会社の乗務員募集のチラシが入っていました。二種免許取得も会社が費用を出してくれるとの事。限りある人生、一生に一度、東京に出てみるか。

よくよく考えたら、東京でのタクシー乗務員なんて、恐ろしくて絶対しない事でした。

運転嫌い、何よりも運転センスのない私にタクシー乗務員が務まるわけがない。一日公道を走ったら「やっぱり無理でした。」と言ってやめる気満々で入社したのでした。

しかしながら、なかなか辞めさせてもらえず、コロナ禍で地獄を見たのをきっかけに、三年勤務して晴れて円満退職し、転職して現在に至っております。

現在、西東京市で訪問介護、昭島市の病院で、清掃の仕事をしています。可能な限り、毎月帰省しています。精神的な意味で、軸足は東京と岩手の両方です。上京して、たくさんの方から、励ましのシャワーを浴びてきました。ここで恩送りをして、石鳥谷に帰ろうと思っています。



二枚の写真を紹介します。

一枚は、福島の花見山公園です。東日本大震災から一年後、縁あって花見山公園に、一日も早い復興を祈念して、河津桜の苗を植樹しました。我が子に会いに行くような気持ちで十年経って見に行ったら、見事に成長し、いっぱい桜の花を咲かせていました。

もう一枚は、石鳥谷の家から歩いて十分ほどのところを流れている北上川に白鳥が飛来している写真です。

在京石鳥谷町人会に入会して

在京石鳥谷町人会

新堀出身

高橋千良

以前より「在京石鳥谷町人会」の事は耳にする機会があり、いつかチャンスがあれば参加させていただきたいと思っていました。入会するきっかけは令和2年に開催された中学時代の「還暦の会」で再会し菊地勝江さん、杉浦喜仁(旧姓照井)君との会話からでした。その後3人が大宮で会う機会があり勝江さんから 11 月に開催される「総会・親睦交流会」に参加しませんか！がきっかけでした。

令和4年11月6日開催された「令和4年度在京石鳥谷町人会 総会・親睦交流会」に参加させていただき高橋会長や大御所で個性豊かなご意見番の川村副会長、上川副会長、山口副会長をはじめ、石鳥谷町出身の諸先輩方、地元の先輩や友人とも出会うことができ故郷との繋がりは何か気持ちが温かい様な感覚になりました。同じテーブルで話をさせていただいた佐藤様も穏やかな素敵なお先輩で！そして同級生の大竹昌二君も元気で！驚いたのは「新堀ふるさとさんさ会」があり、さんさ踊りの文化があったとは。(いつか踊りを教えてもらい俺も踊りたい！！)と秘かに思いました。この総会・親睦交流会に参加させていただき上野駅に行く“石川啄木先生の気持ち”になれました。

総会・親睦交流会の参加をきっかけに、会の「幹事会」や「桜お花見クルーズ」にも参加させていただき、生まれ育った故郷を思う気持ちも変わってきたように思います。



桜クルーズ二次会



2023年9月23日 同級会

そんな中昨年、喜仁君と地元の友人が“小学校の同級会をやろう”企画の話が持ち上がりました。私はいいいね、いいね！と言いながら、同級生たちの連絡先も知らずあまり協力できませんでしたが、今の時代は凄いいもので同級生のグループ LINE が立ち上がり、あっという間に同級会の日程、参加メンバー、開催場所が決まりました。そして令和5年9月23日小学校の同級会が開催されました。同級生は34人、参加者17人(男9名・女性8名)の、なんと5割の参加率。卒業してから半世紀！！人生の 1/10 を共にした同級生ですから昔の面影をたどりながら楽しい再会になりました(みんないい顔しているな)。会は最初から盛り上がるのは言うまでもなく、カラオケでデュエット等々結構いい感じ！(私は悪戯坊主でしたので、お詫びの1日)。次回は全員集めて宴会だ！と。今回は参加できなかった友人を思い、次回は全員に会えることを期待して！ただただ尽力いただいた幹事に“感謝・感謝”の1日でした。

在京石鳥谷町人会に参加させていただいた事がきっかけで、会の皆様や友人達と会う機会が増えてきた様になっています。これからも様々な行事に参加させていただきたいと思います。今後ともよろしくお祈りします。

長いまっすぐな道

在京石鳥谷町人会

会計 山口 郁子

昔、好地村に長いまっすぐな道をつくった男がいた。男の名は菊池数馬(きくちかずま)、武士である。父の正宗は小田原の北条氏に仕えていましたが、豊臣秀吉の小田原征伐により殉死。捕らえられた数馬は秀吉の助命により奥州に落ちのび、好地村に住むことになる。そして石鳥谷を貫通する旧国道4号線のもととなる長いまっすぐな道をつくりました。

新堀生まれの私は、まっすぐな旧国道4号線を自転車で気持ちよく通学していましたが、好地出身の夫と結婚するまで菊池数馬を知りませんでした。その話を聞いたのは、熊野神社の宮司をなさっている菊池さんからでした。お盆に帰省した折、山口家の茶の間で菊池さんは「この山口さんの土地は、昔、菊池数馬が住んでいた場所です」とおっしゃって、数馬の逸話を2つ話してくれました。その1つが冒頭に書いたまっすぐな道の話。数馬は夜、村人にちょうちんを持たせ、一直線上になるように立たせて道をつくったそうです。そして2つ目の逸話は、遠野のお殿様に踊りを披露すると見せかけて、着物の下に鎧をつけて攻め入りました。これは豊臣秀吉の策略だったのか？ここは史実に詳しい専門家にお任せしたいところ、先に進みます。主人は数馬を知っていましたが、初めて聞く私は数馬の機知と頓智を一休さんのようだと感心しながら聞きいりました。そして菊池さんは「どうぞこの土地を大切にお守りください」と言い残して帰られました。主人に聞いてみると、菊池数馬と山口の接点は何らわからないそうです。でもここがかつて数馬の暮らした土地と思うだけで、歴史の一端に触れた気がして背筋が伸びる思いでした。

後日、菊池数馬について調べました。好地村を愛した数馬は新田の開拓や道路・橋の新設、改良などに力を尽くす一方、紫波との境、犬淵村との境界争いにも活躍した頑健勇猛な方だったそうです。危篤の際は村の若者たちを集め、「自分が境の鬼となって好地村を守るので、境に埋めてほしい」と遺言し、万治2年(1659)75歳で亡くなりました。遺言にもとづいて長坂の長根に葬られ、この地を「数馬長根」といい、石鳥谷開発の恩人として崇敬されています。

今は千葉県松戸市に住んでいますが、本籍地は石鳥谷のままです。そのため、本籍地を書く書類には石鳥谷町好地と記入します。するとその地名を見た方は、さぞかしいところでしょうね、と言ってくださいます。そして私は、ええ北上川が流れる「光と風のユートピア」ですと、ちゃっかり宮沢賢治を引用します。そして思います。もしかしたら「好地」と名付けたのは、ふるさとを遠く離れ、この美しい地を終の棲家と決めた数馬かもしれないと。この強引な推測もまた、詳しい専門家にお任せしたいところです。



好地6区有志の方がボランティアで墓の草取りや花を供えています。

令和5年度日本橋 お花見クルーズ

在京石鳥谷町人会

企画 川村 三郎

令和6年3月17日(日)在京石鳥谷町人会幹事で恒例の日本橋お花見クルーズが行われました。

今年は2月から暖かく夏日と言われた日も何日か有り、早い開花が予想されていました。

そこで今年は早いうちにと、予定した日があつという間に予約が埋まってしまい、2番目の予定日、17日に急遽変更して40名で予約をし、開花を期待しながら皆さんにご案内をしました。

ところが日を追うごとに冬の様な日が続いて雪まで降り出し、ニュースでも各地で寒波の被害が報じられ、開花予測が後ろへ後ろへとずれて来はじめ20日頃までずれ込み、胃が痛くなりそうでした。それでも“参加するよ”と応募頂いた方が30名もいらっやって担当としてとても有難く感謝の気持ちでいっぱいになりました、最終的には参加者は28名になりました。

こんな中で追い打ちをかける様に予約していた懇親会場が、従業員が確保出来ず当分の間、日曜日は休業とする事が決まったので予約のキャンセルを伝えて来ました、慌てて日本橋界隈をネットで検索しましたが見つからず、1日中歩き回ってようやく我が会の条件に合う会場が見つかり予約する事が出来胸をなでおろしました。

さて、お花見クルーズ当日になり多少風は有りましたが、空は青く晴れ渡り気温は少し動けば汗ばむほど暖かい日に恵まれ、参加下さった皆さんに申し訳がたった気持ちでした、又参集下さった皆さんも表情も明るく、賑わっていてホッとしました。

お花見クルーズは日本橋の船着き場を出発した所でガイドの男性が悪びれる事も無く、「今日は桜は咲いておりません」と断言し皆さんも何と無く分かっていて、その事を遠慮なく断言されると可笑しくて皆大笑いしてしまい、桜は無くても楽しい船旅が出来そうになって来ました、ガイドさんが上手いのか和やかな雰囲気を楽しみました。

いつもは大横川に入る水門をくぐると左右の岸から川に覆いかぶさる様に咲く桜並木が遠目に見えて「お～！！」と歓声が上がりますが、今日は落ち着いた

態度であちこちに見える物の謂れ、歴史などの解説に聞き日本橋川、隅田川、大横川、又その川に掛かる橋や石垣、石積み樹木、建物などの勉強をさせて頂きました。船着き場に到着して橋の袂のシンボル桜(今日は咲いていません)の木の下で集合写真を撮ってクルーズの部は終了しました。

懇親会の部は日本橋から歩いて5～6分の所に見つけた会場です。地下1階の会場はフロア全部貸し切りしてもらい、気兼ねなくズーズー弁で盛り上げる事が出来ましたが、席次が上手く打ち合わせが出来ずに多少バタつき、又料理も少し物足りない感は有りましたが、花巻ふるさと会瀬川会長の挨拶を頂き、東和町友会の蟹澤会長に乾杯のご発声をお願いしましたがその挨拶の中で「今年の花見は過去に無い最高の花見だった」の言葉を頂き皆さんは大いに盛り上がり私は汗を拭きました。

皆さんに大いに楽しんで頂きましたが時間が迫り、石鳥谷町人会の柳原監事に手締めで賑やかに締めくくって頂きました。

ご参加いただいた皆様、有難うございました。
めげずに来年もやります！！



【編集後記】

★2024年元旦能登半島地震

★たろし滝 計測不能

★チームいしどりや決勝トーナメントベスト16

★お花見クルーズ 桜開花せず

予測不能、想像を超える出来事、異常気象……

皆さん、健康第一で！

上野精養軒でお会いしましょう！！(記:上川)